コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事例

学校で行う地域学校協働活動

１　教育課程・授業の充実・魅力化に関すること

⑵　体験活動【地域にある資源(自然、文化、産業等)を活かした体験学習】

【青島小】マリンスポーツ体験授業　～５・６学年体育科～

・５、６学年児童体育科学習の一環

・まちづくり推進委員会と渚の交番が授業支援、保護者のボランティアも協力

・青島の地域性やよさを生かした学習について学校運営協議会で協議し、まちづくり推進委員会が中心になって実施することになって３年目。

・学校は総合的な学習の時間と関連させ、青島のよさや魅力を体験する学習としている。

【本郷小】山崎川学習　～４学年総合的な学習の時間～

- **地域学校協働活動を意図的・計画的に実施し、本郷小版CSを推進したいという校長の方針を学校運営協議会で承認**
- 山崎川を守る会等の地域のボランティアが主な講師
- 水生生物の調査、コスモスの種まき、灯ろう流し等の活動を実施（写真はコスモスの種まきの様子）
- 山崎川を子どもたちと共に大事にしていきたいという地域と学校の願いがある。

【生目小】　米作り活動　～５学年総合的な学習の時間～

- **学校運営協議会で家庭や地域との連携を深め、地域を愛し、地域から愛される学校づくりを目指す経営方針を承認。**
- ３学年以上の総合的な学習の時間では地域の資源、文化をテーマにした学習を系統的に展開。５学年では地域の特色を生かして米作りを実施
- 地域のNPO法人が２０年間授業支援
- 春の田植え、秋の稲刈りとその間の成長の確認を児童が行う。
- 収穫した米は給食で全校児童に提供。また家庭科の調理実習で活用する。
- 米作りだけでなく、一人一人が米についてテーマを決めて探究活動を行い、最後はその成果を発表する。

【内海小】　釣り体験・昔の遊体験　～クラブ活動～

・学校運営協議会で地域とともに取り組みたい教育活動を説明、承認

・３学年以上のクラブ活動で地域の人材の指導を受けて、釣り体験や昔の遊び体験を実施

・指導者はまちづくり推進委員会のメンバー他、内海地区の地域住民

・昔の遊びには１、２学年も生活科で一緒に参加

・地域の特徴を生かした児童と地域の高齢者との交流の機会にもなっている。

【宮崎西小】　５学年児童と次年度入学の園児が一緒に行う芋ほり体験

- **学校運営協議会で「学校・家庭・地域が一体となり、自分に自信と誇りをもちカ強く生き抜いていくカを身に付けた児童を育成する」学校経営ビジョンを承認**
- まちづくり推進委員会が中心となり、現５学年児童と来年度入学予定の年長児が合同で芋ほりを行う。
- 場所は宮崎西小校内の空き花壇を使用し、世話役として地域の人材や保護者が協力
- 土曜日の地域学校協働活動として実施し、希望者が参加
- 次年度の６学年と１年生の関係になる子ども同士の交流の機会となっている。

【高岡小・穆佐小】　高岡ゆめパークキッズ編　～６学年総合的な学習の時間～

- **学校運営協議会で家庭・地域と連携したキャリア教育の推進（穆佐小）、学校運営協議会と学校経営の一体化（高岡小）を承認**
- 高岡地区の商工会のネットワークを生かし、高岡小・穆佐小合同で６学年のキャリア教育（体験活動）を展開。令和７年度で５回目の実施
- 学校から商工会を通して募集を行い、高岡地区の地元の企業や店舗が応募して協力
- 令和７年度は１６の団体が参加。児童は全１３グループに分かれてブースを回る。
- 参加企業や店舗も、児童の反応を通して自らの仕事を見つめ直す機会になっている。

【佐土原小】　佐土原人形の絵付け体験　～３学年総合的な学習の時間～

- **学校運営協議会でスリム化・重点化の取組として、「外部の専門家・関係機関・保護者・地域の人材等の積極的な活用」を説明・承認**
- その具体的な取組として出前授業等外部講師の積極的な活用を図っている。
- 総合的な学習の時間では、地域をテーマにした学習を学年ごとに実施
- ３学年では地域の工房から講師を招き、地域の伝統文化である佐土原人形の絵付け体験を実施
- 佐土原人形の伝統や制作の過程について説明を受け、実際に絵付けを行う。
- 地元の伝統文化にふれる貴重な体験活動になっている。